



東北復興 PSW にゆうす

今号も、被災地・東北の現在について、宮城県の構成員より「リレーメッセージ」のご寄稿をいただきました。また、先日開催された第53回全国大会・第16回学術集会（大阪大会）での、被災地3県の福祉事業所による製品の販売の様子をお届けします。

リレーメッセージ



「震災から7年・宮城は少し元気です」

(公社) 日本精神保健福祉士協会
宮城県支部 副支部長 うじいえ やすひろ 氏家靖浩
(仙台白百合女子大学人間学部人間発達学科 教授)

東日本大震災の年、2011（平成23）年3月以降に生まれた子どもたちは、2018（平成30）年の春に小学校に入学します。もうそんなにたつのか、という思いと、まだそんなものか、という思いが交錯します。「あの日」からの日々は、震災で直接的な打撃を受けた人々にとっても、遠方から支援に入った人々にとっても、経験も記憶も少しずつ薄らぎがちではないかと思えます。だから、今、目の前にあるものは、ずっと昔からそのままであったように思いますし、この先もずっとそのままであるように思ってしまうのでしょうか。復興の歩みそのものも、必ずしも震災のせいばかりではないのに、目の前にあるものがすべてであるかのような錯覚に陥ってしまいます。

宮城県は、比較的狭い県土の中で、震災による影響を極端に大きく受けたのではないかと、いまさらながらにして思っています。新幹線がひっきりなしに発着する仙台駅から、周辺に新たに立ち並んだ高層ビルを眺めて、少し東のほうに車を走らせるだけで、あの日のまま、時計の針が進んでいない風景の場所にたどり着きます。こんなアンバランスを、どう表現してよいのか、私にはいまだに言葉が見つかりません。

一方でこの国は、この星は、次から次へと新たな災いに見舞われ、地震、大雨、ロケットが空を飛ぶ時代に入ってしまった。

新たな災害にいつもただドキドキして初心者として立ち向かうだけではなく、あの日、我々はどう動いたのか、そしてこの7年間で、アンバランスとはいえ、どうやってここまで歩いてきたのかを、常に振り返り、震災後に生まれた新しい世代にも伝えていく責任があると、強く考えるようになりました。

あの日、停電で途方に暮れた仙台も、年末の光のページェント（木の枝に電球を巻き付けたお祭り）は、ちゃんと実施されました。こんなお祭りのレジリエンスを眺めながら、ゆっくりと、でもしっかりと復興の道を歩んでいきたいですね。



仙台 光のページェント

2017（平成29）年9月15日、16日の2日間、大阪府立国際会議場にて開催された第53回全国大会・第16回学術集会で被災地障害者作業所等の物販が行われました。

この取組は2013年の石川大会から行われており、今回で5回目となります。岩手・宮城・福島の事業所より製品をお預かりし、東日本大震災復興支援委員会委員と全国の仲間の協力を得て、それぞれの地域の様子をお伝えするなど「語りながら」販売することで東北を身近に感じていただくとともに、その売り上げを購入いただいた皆さまの想いと一緒届けられるものです。



事業所より届いた馴染みの製品を一つ一つ確認して陳列します。



確認が終わったら陳列作業！可愛いポップも事業所と販売員のアイデア！



販売ブースは受付エントランス前！大阪大会運営委員の皆さんありがとう！



話題となった「ごぼうくん」



いよいよ物販スタート！
熱い想いで「語りながら」販売します。
ツアーで訪問した事業所の想いも乗せて！
たくさんの方が商品を手にとってくださりました。



今年は岩手・宮城・福島
11事業所45品が揃いぶみ！



販売にご協力して下さるボランティア構成員さんに支えられています。ご協力ありがとうございました！



見事全品完売となりました！！



物販スタッフが着ていたTシャツには岩手・宮城・福島とともに「大阪」「絆」の文字が刻まれていました。



またお会いしましょう！

マスコットキャラクター「えんが〜る」



出品いただいた岩手・宮城・福島の実業所の皆さま、製品をご購入いただいた皆さま、販売協力員の皆さま、大阪大会運営委員・協会事務局の皆さま、本物販に心を寄せていただきましたすべての皆さま、本当にありがとうございました☆

「東日本大震災復興支援」助成金交付申請募集（第12期）のご案内

本協会では、東日本大震災復興支援事業の一環として、都道府県精神保健福祉士協会等による復興支援活動の経費を助成しています。詳細は本協会ウェブサイトをご参照ください。皆さまからのご応募をお待ちしております。

- ✓第12期申請受付期限：2017年11月30日（木）当日消印有効
- ✓申請方法：「交付申請書」に必要事項をご記入のうえ、本協会事務局宛にご郵送ください。

<http://japsw.or.jp/backnumber/oshirase/2017/0904.html>

復興支縁ツアーinいわて 予告

2017年度は「東日本大震災復興支縁」ツアーinいわてを開催する予定です。詳細が決まり次第ウェブサイトにて順次掲載いたします。詳細のご案内・募集申込みについては、明年1月15日の定期発送物にチラシを同封予定です。お楽しみに！

★皆さまからのメッセージを募集します★ 本紙では被災した各地の仲間へのメッセージ及び被災地からの情報発信など、相互交流ができる紙面づくりを目指しています。全国どなたからのメッセージでも構いません。それぞれのお立場からの声をお聞かせください。本紙へのご意見・ご感想も大歓迎です。本紙面や協会ウェブサイトにてご紹介させていただきます（原則として投稿者氏名以外の個人情報掲載しません）。メッセージ投稿は東日本大震災復興支援委員会宛のFAXもしくはE-mail (office@japsw.or.jp)にてお願いします。

*題名に「PSWにゆうすについて」とご記入をお願いします。

第31号 2017年11月15日発行

発行：公益社団法人日本精神保健福祉士協会 東日本大震災復興支援委員会

〒160-0015 東京都新宿区大京町23-3 四谷オーキッドビル7F TEL. 03-5366-3152 FAX. 03-5366-2993

★URL：http://www.japsw.or.jp/

★東日本大震災復興支援サイト http://www.japsw.or.jp/ugoki/f-jyoho.html